

1. 地域密着型金融の取組み状況

2023年4月～2024年3月の取組み状況

2024年3月末現在

大項目	具体的な取組み	個別の取組み状況
1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化	① 事業再生に向けた取組 01 企業支援先の選定 【計数目標】 営業店毎に1先以上、全店で18先以上とする。 02 事業融資先全体に対する債務者区分のランクアップ 【計数目標】 年間で5先とする。 03 外部機関等の有効活用によるコンサルティング機能の強化 ② 中小企業金融円滑化および新型コロナウイルス禍の影響、物価高騰の影響に係る条件変更先への支援 ③ 創業・新事業先への支援強化 「知多地域創業支援特別融資制度」を地元商工会議所・商工会と連携して創業・新事業先に利用促進を図る。 【計数目標】 年間で18先とする。	・企業支援先21先を選定しました。 ・事業融資先のうち年間で計23先をランクアップすることができました。 ・3先、あいち産業振興機構の経営・技術専門家派遣事業を活用しました。 ・民間コンサル企業との連携を強化しました。 ・経営改善計画書が未作成の先に対して、同計画書作成支援を行いました。 ・3月末における条件変更先は78先、うち経営改善計画書作成先は33先となりました。 ・創業・新事業先への融資の実績は33先 【知多地域創業支援特別融資】 2先 8,000万円 【創業支援融資】 31先 2億3,050万円
2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底	① 事業価値を見極める融資 (不動産担保・個人保証に過度に依存しない融資) 01 事業性評価に基づく新規事業先向けプロパー融資商品「絆ローン」の推進。 02 日本政策金融公庫との協調融資の推進 ② 目利き能力の向上を目的とした教育訓練の効果的推進 01 目利き能力向上のための研修を実施するとともに中小企業診断士の育成を図る。 02 独立行政法人 中小企業基盤整備機構による支援機関サポート事業の活用（職員向け講習会の開催）	・16先、1億2,050万円の取組がありました。 ・19先、5億4,299万円の取組がありました。 ・職員2名が、事業性評価のポイントと経営アドバイス講座を受講しました。 ・職員1名が、実践融資渉外講座を受講しました。 ・職員1名が、中小企業診断士資格取得のための通学講座を受講しました。 ・「医療業を理解する基礎知識」講習会を開催しました。 ・「介護業を理解する基礎知識」講習会を開催しました。 ・3回シリーズ「事業承継支援に必要な知識・スキル習得」講習会を開催しました。 ・職員2名が、「地域力向上を実現する中小企業応援プログラム」基礎編を受講しました。

1. 地域密着型金融の取組み状況

2023年4月～2024年3月の取組み状況

2024年3月末現在

大項目	具体的な取組み	個別の取組み状況
3. 地域の情報を活用した持続可能な地域経済への貢献	① 地方創生への取組 01 地方自治体との連携 ② 地域活性化につながる多様なサービスの提供 01 ビジネス・マッチングの推進を図る。 【計数目標】 年間で18先とする。 02 中小企業経営者に対する経営セミナーの開催 03 相談窓口の充実 ・顧客利便性の充実 04 金融知識の地域への普及 ・若い世代（小・中学生）に対する金融知識の普及に努める。 05 コミュニティ・ビジネスを行うNPO法人等への支援 ・NPO法人等への支援を推進する。 【計数目標】 年間で2先とする。 06 新型コロナウイルス感染症、および物価高騰の影響に係る、経営への影響に対する支援強化	・半田市の地方創生事業（新美南吉誕生110周年事業等）の支援活動を実施しました。（各種イベントや施設周辺の清掃活動参加） ・ビジネスマッチングは、成約先が23先となり目標の18先を達成することができました。 ・旭酒造(株)代取 桜井博志氏による「逆境経営 ピンチはチャンス！ ～瀬祭を生んだ奇跡～」のWEBセミナーを開催し、企業13社が参加しました。 ・令和5年4月より、当金庫「ローンセンター・年金相談センター」に投資信託や相続業務を追加するなど、機能見直しを図り、「はんしん相談プラザ」として名称変更しました。 ・小学校4校で、金融教室を開催しました。 ・中学校1校で、金融教室を開催しました。 ・NPO法人への融資1先 1,000万円を実行しました。 ・NPO法人1先へ各種支援を行いました。 ・伴走支援特別保証制度 203先 38億8,990万円 ・愛知県融資制度・サポート資金【新型コロナ借換】 1先 5,000万円